

学校だよ

佐賀県立鹿島高等学校

赤門学舎（旧鹿島高等学校）

大手門学舎（旧鹿島実業高等学校）

題字：書道科担当
山田 千鶴

第 2 号
(2020. 6. 15)

学校再開



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月21日（火）から5月13日（水）まで休校になっていましたが、5月14日（木）から学校が再開しました。登校する生徒たちの元気な様子に安心を覚えるとともに、こちらも元気をもらえているようで励まされました。5月22日（金）までの時差通学（9時登校）を経て、現在では通常登校に戻り、生徒たちは勉強に部活動にと励んでいます。このまま、それぞれの目標に向かって頑張ってくれることを期待しています。



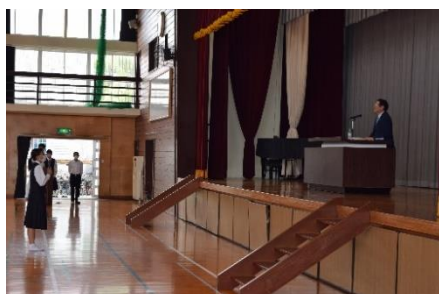
オンライン授業

新型コロナウイルス感染症の影響で休校になった期間中、生徒たちの学習が滞らないよう、家庭学習のしかたを示したり課題を出したりするなど、各教科でさまざまな工夫をしました。また、授業を自宅で受けることができる「オンライン授業」も実施されました。生徒たちは、学習用PCで時間割を確認し授業を視聴しました。授業中にチャットで質問したり問題に答えたりする生徒も多く、いつもと一味違う授業を楽しんで受けることができたようです。

市長講演

5月22日（金）3、4時間目に、本校赤門学舎の体育館で、1年生を対象に樋口久俊鹿島市長による講演会を行いました。体育館では、マスクの着用や周囲との距離を十分にとることを心掛けながら、生徒たちは鹿島市の課題や人としてのあり方などについてのお話に聞き入っていました。

また、この講演会は佐賀県が推進している「地域とつながる高校魅力づ



くりプロジェクト」及び「さがを誇りに思う教育」の一環でもあり、魅力と活気ある高校づくりや地域を愛する心の育成を目的としています。高校卒業後はそれぞれの進路に向かっていく子どもたちですが、地元を離れても、地域課題の解決に向けて取り組んだ高校時代の活動の記憶とともに「ふるさと鹿島」を愛する心を持ち続ける人材へと成長してくれるものと信じています。

3 年生激励会

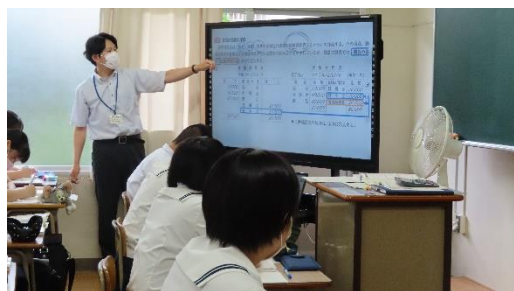
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国高等学校総合体育大会や第102回全国高等学校野球選手権大会、全日本吹奏楽コンクールなどの各種大会が相次いで中止となり、それに係る県予選大会も中止となりました。それに代わる代替大会が開催される競技もありますが、部活動としては一つの区切りの時期を迎えたことから、3年生の激励会を開きました。



5月29日（金）6、7時間目に、ユニフォームや体操服に着替え、大手門学舎のグラウンドに集合した3年生たちは、部活動ごとに、代替大会に向けての意気込みを宣言したり、仲間との思い出を語ったりと、思い思いのパフォーマンスを披露しました。最後には学年で集合写真の撮影も行いました。大会に出場する3年生は、最期までベストを尽くして頑張してほしいと思います。



校内研修



鹿島高等学校では、毎年、職員研修の一つとして「公開授業」を行っています。これは、職員間で互いの授業を参観し、その感想などを伝え合うことで、個々の授業の改善に役立てるものです。年間を通して随時行っているのですが、早速、第1回目の「公開授業」を6月4日（木）に実施しました。

1時間目は大手門学舎で商業科の星山博人教諭による簿記の授業、2時間目は赤門学舎で陣内剛教諭による物理の授業でした。どちらも、教室に入りきれないほど多くの先生が参観し、生徒たちもいつもより緊張気味に授業を受けていました。

今後も、このような研修を通して、職員一人一人の授業の質を高め、生徒たちへよりよい支援ができるよう精進してまいります。



表彰

〈書道部〉

・「第1回硬筆書写技能検定」優良賞 3年6室 峰松梨奈

・「梧竹・蒼海顕彰第28回佐賀県書道展」高校生の部

新人賞 池田 羅菜（3-7）、安西 涼子（2-5）

優秀賞 島内 美貴子（3-1）、永吉 向日葵（3-1）、山田 和紗（3-1）、副島 海美（3-3）、
倉崎 琴香（3-4）、田中 美緒（3-4）、中原 希（3-5）、荒川 真帆（3-7）、
吉村 静華（2-1）

〈美術部〉

・「第73回佐賀県高等学校スケッチ大会」

準特選 溝口 有希（3-1）、一ノ瀬 堅介（2-5）、福田 愛実（1-1）

奨励賞 林田 月（3-2）、樋口 雅琳（2-1）、中村 早希（2-5）